



発行

自治労連

大阪自治体労働組合総連合

2005.7.15
vol.198

発行人 町田 豊治／編集人 樋口 和弘
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15大阪グリーン会館4F ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL: http://www.osaka-jichiroren.jp

2005年7月15日 No.198

平成2年9月12日第3種郵便物認可 毎月15日発行（一部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

破顔1笑!

大阪自治労連

空梅雨の猛暑のなかで熱戦が繰り広げられた。試合中は、1つの白球を追いかけ、選手は真剣そのもの。

野球大会

試合に勝って笑顔が素敵な岸和田市職労チームの松阪正純さん。（5面に連記）

今月号の
紙面から



まん中の列右端が西さん

198



9月に開かれる大阪自治労連うたごえ祭典
実行委員会事務局長

西 和子さん
(堺市職労)



うたごえは平和の力 歌は仲間をつくる

6年ぶりに大阪自治労連うたごえ祭典が開かれる。その実行委員会の事務局長として準備に追われている堺市職労の西和子さんに聞きました。

単組の個性も見えてくる

仕事は——堺市の保育士です。
うたごえ運動にかかわったきっかけは？——学校を卒業して関西合唱団に入団しました。その後、合唱団の主婦班として出発した「レガーテ」で活動し、しばらく中断していましたが、8年前に復帰しました。その間、堺市に入り、うたごえサークル「ら・ら・ら」を保育士仲間とつくれたんです。
現在の活動は一「レガーテ」の練習が月3回、「ら・ら・ら」は月2回です。
うたごえをやっていてよかったなあと思うことは——大好きな歌を思いっきり歌えること。
辛かったことは——練習しても上手にならないこ

と。今は、限界が見えてしまった。
うたごえ運動のいいところ、魅力は——うたごえには、自分の思いを表現できる歌がいっぱいあります。
自治労連うたごえ祭典の印象は——きびしい情勢の中、うたごえを通して自分たちの市を越えて、職場の仲間同士励ましあえるのがいい。また、それぞれの単組の個性が見えて楽しいですよ。

すべての単組が参加してこそ

自治労連うたごえ祭典のおすすめポイントは——いま、現実には目の前の仕事はますますしんどくなっていますよね。でも、仲間との交流ができれば発散もでき、元気になります。それに、新しい歌も覚えられます。

うたごえ祭典成功への抱負は——それぞれに与えられた時間は10分。その中で、思いの丈を自由に出せる場をつくれたらと思っています。歌声だけでなく、文化的な取り組みがもっと盛んになるきっかけになるといふとも思っています。

いま、参加を考えている単組へひとこと——単組の中にうたごえサークルがないところもあり、参加人数が集まらないからというところもあると思います。しかし、すべての単組が参加して交流することに意義があると思っています。ぜひ、がんばって参加してください。すべての単組のみなさんへ訴えます。

参加募集中 大阪自治労連うたごえ祭典

とき 9月4日(日)午前10:00～
ところ 岸和田市マドカホール ♪
(南海「春木駅」下車 徒歩10分)

単組はもちろん
ウルフでも
参加可 合唱以外も
大歓迎！ 詳しくは
実行委員会まで
お問い合わせ下さい

編集後記

罪を犯さなくても相談しただけで逮捕され、団体活動としての労働組合活動や争議行動が犯罪とされる恐

れがある法律「共謀罪」が、6月24日に審議入りした。話し合うことを処罰する共謀罪は、「治安維持法」

の復活かと錯覚する。憲法の保障する言論・表現の自由を侵害する悪法の成立を許してはならない。

2005.7.15

おおさかじちたいのなかま

大阪自治労連うたごえ祭典にご参加を！

第198号